

令和6年度学会等助成 採択学会一覧

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

3件のご応募いただきありがとうございました。

次の3件に各10万円、合計30万円を助成することといたしました。

会長／会頭(敬称略)	学会名・開催日程・開催場所	助成金額
脳神経外科学 教授 鰐淵 昌彦	第22回日本臨床医療福祉学会 日程：令和6年9月20日(金)～9月21日(土) 場所：ホテルグランビア京都	10万円
医学教育センター 専門教授 瀧谷 公隆	第38回日本小児脂質研究会 日程：令和6年10月26日(土)～10月27日(日) 場所：大阪医科薬科大学	10万円
皮膚科学 教授 森脇 真一	第15回日本皮膚科心身医学会 日程：令和7年1月26日(日) 場所：大阪医科薬科大学	10万円

令和7年度の公募は、令和6年10月1日(火)～令和6年10月31日(木)に実施します。

詳細は、10月初旬にホームページに掲載いたします。

会長からの お知らせ

「医学生、研修医等をサポートするための会」を開催しました。

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

令和5年度「医学生、研修医等をサポートするための会」を令和6年1月11日(木)18時からP101教室で現地開催し、同時にZoom配信も行いました。同会は、年1回、在阪5大学医師会と大阪府医師会、日本医師会の共催で実施しています。今回は当医師会が主務を担当し、大阪医科薬科大学女性医師・研究者支援センター(以下 センター)にご協力をいただきました。

司会を大阪府医師会男女共同参画検討委員会委員の中平淳子先生(麻醉科学 講師)が務めました。

特別講演は、「わたしのキャリア ー自分の信じる道を生きるー」と題して、一般・消化器外科学助教(准)の河野恵美子先生にご講演いただきました。子育て中の女性医師に手術の技術支援を行い、また女性が使いやすい手術器具の開発を行うなど、女性が働きやすい土台作りをされていることに感銘を受けました。女性医師・研究者支援センター副センター長の神吉佐智子先生(胸部外科学 講師(准))には同センターの活動内容をわかりやすくご紹介いただきました。研究助成金も用意されていますので、同センターの存在、活動について多くの先生方に知っていただき、ライフステージに合わせてご利用いただければ幸いです。

「わたしの将来像とそれを実現するために」を初期研修2年目の松本絵里佳先生、循環器内科レジデントの阪本淳那



司会の中平淳子先生



河野恵美子先生



神吉佐智子先生



パネルディスカッション

会長からのお知らせ 「医学生、研修医等をサポートするための会」を開催しました。

先生、市立ひらかた病院乳腺・内分泌外科の青木千夏先生の3人の先生にご発表いただき、若い先生方からの強いメッセージをいただきました。若い先生方の声を聞いたことはたいへん有意義でした。

「令和5年度 医学生、研修医等をサポートするための会」

1. 日時 令和6年1月11日(木) 18:00~20:00
 2. 会場 大阪医科薬科大学 P101(新講義実習棟1階)
 3. 開催形式 ハイブリッド開催(座学及びZoom)
 4. 主催 大阪医科薬科大学医師会、大阪府医師会、日本医師会
 5. 共催 大阪医科薬科大学女性医師・研究者支援センター
 6. 対象者 大阪府内の医学生、研修生及び医師等(男女問わず)、医療施設関係者の参加可
 7. 参加費 無料(要申込)
- *日本医師会生涯教育制度(2単位:1-4-7-10)
*お申し込みはQRコードよりお願いいたします。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_K1Rj8z4sQR65VRQHbzmqUA



【テーマ】「女性医師のキャリアアップ支援」

【プログラム】

- 開会 司会進行 大阪府医師会 男女共同参画検討委員会 委員 / 大阪医科薬科大学 麻酔科学 講師 中平 淳子
- 挨拶 大阪医科薬科大学医師会 会長 / 大阪医科薬科大学 皮膚科学 教授 森脇 真一
大阪府医師会 理事 笠原 幹司
1. 特別講演「わたしのキャリアー ー自分の信じる道を生きるー」
座長 大阪府医師会 男女共同参画検討委員会 委員 / 大阪医科薬科大学 麻酔科学 講師 中平 淳子
大阪医科薬科大学 一般・消化器外科学 助教(准) 河野 恵美子 先生
2. 「女性医師・研究者支援センター」のご紹介
座長 大阪府医師会 男女共同参画検討委員会 委員 / 大阪医科薬科大学 麻酔科学 講師 中平 淳子
女性医師・研究者支援センター 副センター長(基礎研究担当) / 大阪医科薬科大学 胸部外科学 講師(准) 神吉 佐智子 先生
3. わたしの将来像とそれを実現するために
座長 大阪医科薬科大学医師会 会長 / 大阪医科薬科大学 皮膚科学 教授 森脇 真一
大阪医科薬科大学 研修医 卒後2年目 松本 絵里佳 先生
大阪医科薬科大学 レジデント 循環器内科 阪本 淳那 先生
関連病院勤務 乳腺・内分泌外科(市立ひらかた病院) 青木 千夏 先生
4. パネルディスカッション
座長 大阪医科薬科大学医師会 会長 / 大阪医科薬科大学 皮膚科学 教授 森脇 真一
5. 日本医師会女性医師バンクのご紹介 大阪府医師会 理事 笠原 幹司
- 閉会 大阪医科薬科大学医師会 会長 / 大阪医科薬科大学 皮膚科学 教授 森脇 真一
大阪府医師会 理事 笠原 幹司

[申込・問合せ] 大阪府医師会 学術課
TEL:06-6763-7006
FAX:06-6764-0267
Mail:f.d.support@po.osaka.med.or.jp



阪本淳那先生



松本絵里佳先生



青木千夏先生

式次第

若手医師らが活発に議論 さらなる飛躍に期待

研修医交流会を開催、府医とのつながり形成へ



研修医の不安、先輩医師らが助言
座談会を実施



清水理事（右から2人目）が研修医の質問を引き出す

座談会では、医学部 選択については、登録してほしい」とメッセージを交わす。杉本部長は、研修医の不安を解消し、府医とのつながり形成へ

座談会では、医学部 選択については、登録してほしい」とメッセージを交わす。杉本部長は、研修医の不安を解消し、府医とのつながり形成へ



フロアからの質問に登壇者が応じた

閉会にあたり阪本副会長があいさつ。これを機に少しでも研修医への理解が深まれば」と期待を寄せた。あわせて、今後キャリアを積む上で不安や悩みが出たときは、医師会のネットワークを活用してほしいと結んだ。



阪本副会長

交流会は杉本主席・見を参考に、今後府医とのつながり形成へ

交流会は杉本主席・見を参考に、今後府医とのつながり形成へ



高井会長



杉本理事



大阪府医師会主催による「研修医交流会 President Networking Event 2023」若手医師らが必要としているのは患者さんだけじゃないが11月5日夕刻、大阪市内で開催された。本交流会は研修医に向けた初の試みで、前半は医師会や関連団体によるプレゼンテーション、後半は若手医師が登壇し座談会を行った。研修医のほか、医師会や臨床研修医の関係者、府医勤務医部会委員など約100人が集った。

府医からのメッセージ

「医師会の役割とは」加納副会長
「医師確保する現状」中尾副会長
「勤務医部会の重要性」澤副会長

「医師会の役割とは」加納副会長
「医師確保する現状」中尾副会長
「勤務医部会の重要性」澤副会長



加納副会長



中尾副会長



澤副会長



医師 深見氏



医師 和田氏

関連するホームページ

■府医ニュース 2024年12月20日号：
研修医交流会を開催、府医とのつながり形成へ 若手医師らが活発に議論 さらなる飛躍に期待
<https://www.osaka.med.or.jp/doctor/doctor-news-detail?no=20231220-3057-1&dir=2023>

■府医ニュース 2023年11月29日号：
時事 研修医交流会ワールドカフェは喫茶店にあらず
<https://www.osaka.med.or.jp/doctor/doctor-news-detail?no=20231129-3055-5&dir=2023>

勤務医部会活動報告

医学生と語る会2023

11ブロック常任委員 宮越 一穂

1月12日夕刻、大阪 産医師とが、リモートで、B・Eテーブル市内で通算16回目ので語り合った。コロナ禍での3密回避のメリ「医学生と語る会2023」が開催された。ツトと、リモートとい20年にCOVID-19うデメリットを経験し「日本の医療の今後おのパンデミックが始ま 3年間であった。よび医師のライフラり、10数年続けてきた 今年はコロナ禍が明ンについて」とテーマ本会は、20・21・22年 医師15人の合計31人 各テーブルには先輩の3年間、参加者が 医師15人の合計31人 各テーブルには先輩一堂に会しては開催で が、梅田スカイビルの 医師と医学生がそれぞれきなかった。A・B・C・D・E・Fの られ2〜3人着席した。 ウェブ形式で、画面 B・C・D・E・Fの ます互いに自己紹介の向こうにいる一人ひ 6つのテーブルを設し、テーブルごとのテ府医師会館に集まった は「進路の選び方や初 い、さらに一人ひとり医師やウェブ参加の先 期臨床研修制度についての 医学生が自分の不安 や疑問を伝え、先輩医 その項目ごとに参加者師達が質問に答えた。 と討論していく方式を約20分で医学生がテ ーとっていた。 プルを移動し、別のテ ー 今回のワールドカフェ形式は、個々の医学 師と、別の先輩医師と エ形式は、自分の聞きたい 語り合うという、いわ 生が、自分の聞きたい ゆる「ワールドカフェ ことをより身近に聞 エ」形式で行われた。 き、より長く話すこと その後、食事を取り ができる方法だと感じ ながら、全体討論を行 た。ただ、各テーブル った。医学生がテ ー でこんな議論がなされ ンを越えて聞きたいこ たのかは、他のテ ー とを質問し、それに答 ルでは聞くことができ えるという時間が設け ず、全体を記録する時 間があった。 これまでの本会での た。それでも、ワール 進行は、初めに参加者 ドカフェ形式は参加者 全員が自己紹介し、自 がより楽しく意見交換 できる方法であること が実感できた。

(2面に関連)

関連するホームページ

■府医ニュース 2024年2月28日号(3面) :

勤務医部会活動報告 医学生と語る会2023

<https://www.osaka.med.or.jp/doctor/doctor-news-detail?no=20240228-3064-8&dir=2023>

■府医ニュース 2024年2月28日号(2面) :

時事 医学生と語る会 ワールドカフェ体験記

<https://www.osaka.med.or.jp/doctor/doctor-news-detail?no=20240228-3064-4&dir=2023>

大阪府医師会勤務医部会 在阪5大学医師会・2行政医師会役員との懇談会

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

勤務医部会活動報告

在阪5大学医師会・2行政医師会役員と

府医および勤務医部会役員との懇談会に参加して

府医勤務医部会常任委員 大里 浩樹

令和6年4月より

改革に取り組まれ、医

「医師の働き方改革」

医師を派遣する側と 師の時間外労働を削減

が本格実施されます。

される側双方の改革に されていきました。しか

病院勤務医には時間外

に向けた課題を共有する し、大学によっては救

労働の上限規制が設け

ために、5年11月30日 急外来や病棟当直の医

られるとともに、医師

に在阪5大学医師会・ 師数を減らさざるを得

の健康確保対策が求め

2行政医師会役員と大 ない実態も報告されま

られます。夜間勤務

阪府医師会および勤務 職員にタスクシフトす

は、ソフト勤務か宿日

医部会役員で「医師の としての若手医師の育

直許可か選択しなけれ

働き方改革——地域・ 成や研究活動がしづら

ばなりません。病院勤

救急医療を維持するた くに、将来的な医学の発

務医の慢性的な過重労働

に我々ができるこ 展に重大な影響を及ぼ

働環境を改善すること

と」をテーマにした懇 可能性が懸念されま

は非常に大切です。し

談会が開催されまし す。

かし、医療現場の表情

た。

を考慮しない働き方改

大学病院では、業務 て、個々の病院での改

革は、医療崩壊につな

改善委員会やワーキン 革には限界があると実

がる可能性も危惧され

グループで積極的に 感じました。改革の本

す。

今回の懇談会を通じ

も、

不足が予想されること

も、

基本的な改革をしなけれ

ばならないと考えま

す。

関連するホームページ

■府医ニュース 2024年3月6日号：

在阪5大学・2行政医師会役員との懇談会

医師の働き方改革をテーマに意見交換

<https://www.osaka.med.or.jp/doctor/doctor-news-detail?no=20240306-3065-12&dir=2023>

大阪府医師会勤務医部会 第2ブロック研修会を開催しました。

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

令和5年度「第2ブロック研修会」を令和6年1月13日(土)13時30分から学Ⅱ講堂で現地開催し、同時にZoom配信も行いました。

大阪府医師会には、令和5年12月時点で、勤務医9,764名が在籍し、これは大阪府医師会員の56.7%を占めます。勤務医部会は大府下を11のブロックに分割して運営しています。当医師会が高槻市、茨木市、摂津市医師会と第2ブロック(三島ブロック)を構成しています。第2ブロックでは、年に1回研修会を実施しています。

特別講演は、「サルコペニア」について、内科学(Ⅱ)教授の西川浩樹先生にご講演をいただきました。第1部は、令和5年6月10日に開催した北摂四医師会医学会総会で発表された一般演題の優秀演題賞授与式を行いました。優秀演題賞が贈られたのは、次の2題です。おめでとうございます。

- 大阪医科薬科大学病院脳神経外科におけるペランパネル処方症例の後方視的解析
柏木 秀基 先生(大阪医科薬科大学 脳神経外科学教室)
- 前立腺肥大症に対して経尿道的前立腺吊り上げ術(PUL)による
新しい低侵襲治療法についての初期経験
福井 勝也 先生(みどりヶ丘病院 泌尿器科)

第2部は、「サルコペニア」について、内科学(Ⅱ)教授の西川浩樹先生に、ご講演をいただきました。西川先生は、日本肝臓学会サルコペニア判定基準作成委員という重要なポストでご活躍されています。肝硬変により引き起こされるサルコペニアの悪化が生命予後に関係しているデータをもとに、アンモニアの上昇がミオスタチンを誘導する、肝硬変はC型肝炎からだけでなくアルコール性のもも原因となる、またアルコール飲酒はサルコペニアのリスクを上げる、という説明があり、アルコールの過剰摂取がどれだけ悪いかがよくわかるご講演でした。脂肪肝がサルコペニアのリスクになりうることは日常臨床でも見落としがちところで、痩せている人の脂肪肝を見抜くという観点は新しい認識でした。我々も臨床の場で、FIB-4インデックスを異常値の早期発見に活用をしたいと思います。サルコペニアを知るうえで、肝機能障害だけではなくトータルに考えて治療につなげていく必要性が理解できました。西川先生にはお忙しい中、多方面からの非常に貴重なお話をいただき医師会員一同厚くお礼を申し上げます。



大阪府医師会勤務医部会第2ブロック
令和5年度第2ブロック研修会
〈第1部〉令和5年度北摂四医師会医学会総会一般演題
優秀演題賞授与式
〈第2部〉特別講演：『サルコペニア』
講師：大阪医科薬科大学 消化器内科学 教授 西川 浩樹先生
日時：令和6年1月13日(土)13:30～15:00

第1回小児救急医療研修会

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

経過観察の重要性など解説

第1回小児救急医療研修会



高井会長

はじめに高井康之会長があいさつ。救急医療は府民の生命・健康に直結する重要な事業であるとし、休日・夜間急病診療所への出務協力を謝意を表した。

大阪府医師会主催、大阪小児科医会後援による、令和5年度第1回小児救急医療研修会が10月26日午後、府医会館とウエブの併用で開催された。本研修会は、休日・夜間急病診療所における小児科診療体制の向上を目的に例年3回シリーズで実施している。当該診療所に出勤する医師や、今後の出勤を予定している医師・医療従事者ら約60人が受講した。

3カ月未満の乳児の発熱は注意

そのほか、小児救急患者のトリアージに言及。急病診療所では看護師によるトリアージを導入しているとし、トリアージの手順について説明した。

また、小児の受診が多く、小児科医だけでなく、小児科の医師にも協力してほしいと述べた。続いて、池田和茂氏（府医救急・災害医療部委員/いけだこと）が座長を務め、新田雅彦氏（同部委員/大阪小児科医会理事）が「小児救急の現状・小児初期救急の要点」をテーマに講演した。新田氏は、対応は厳しい現状を示し、他科の医師にも協力してほしいと述べた。紹介。子どもは症状をうまく伝えることができないため、家族への問診や保護者の「いつもうまく伝えることができない」という感覚を大切にしてほしいと述べた。また、小児患者のトリアージに言及。急病診療所では看護師によるトリアージを導入しているとし、トリアージの手順について説明した。



新田氏

専門医であっても経過をみないと不明なことが多い、その場で完結しようとしなくても大事だと力説した。

関連するホームページ

■府医ニュース 2023年12月6日号：

第1回小児救急医療研修会

<https://www.osaka.med.or.jp/doctor/doctor-news-detail?no=20231206-3056-9&dir=2023>